

各 位

会 社 名 株式会社ファンコミュニケーションズ
代表者名 代表取締役社長 柳澤 安慶
(コード番号 2461)
問合せ先 執行役員社長室長 杉山 紳一郎
(TEL. 03 - 5766 - 3530)

平成 21 年 12 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年11月10日付当社「平成21年12月期 第3四半期決算短信（非連結）」において発表いたしました平成21年12月期（平成21年1月1日～平成21年12月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 通期業績予想の修正等（平成 21 年 1 月 1 日 ～ 平成 21 年 12 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回予想 (A)	7,900	1,240	1,330	690	7,168.02
今回修正 (B)	8,010	1,330	1,420	750	7,821.14
増減額 (B - A)	110	90	90	60	—
増減率	1.4%	7.3%	6.8%	8.7%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 12 月期)	6,044	956	965	531	5,402.33

2. 修正の理由

売上高につきましては、景気後退や一部業界での事業環境変化などによる広告予算縮小の影響が懸念されましたが、主力サービスであるパソコン向けおよび携帯向けアフィリエイト広告サービスが堅調に推移したことにより、前回予想数値を上回る見込みとなりました。

営業利益につきましては、売上高が前回予想数値を上回る見込みとなったことに加え、販売費及び一般管理費を対予算比で削減できたこと、および粗利益率の高い自社媒体運営が好調であったことにより、前回予想数値を上回る見込みとなりました。

経常利益につきましては、営業利益の増加に加え、有価証券利息 67 百万円の計上等により、前回予想数値を上回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、有価証券（ジョイント・コーポレーション社発行の社債を担保債券とするリパッケージ債）償還不能による損失 99 百万円およびソフトウェア除却に伴う損失 49 百万円を特別損失として計上する予定であります。経常利益の増加により、前回予想数値を上回る見込みとなりました。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

以 上